



中华人民共和国生态环境部

Ministry of Ecology and Environment of the People's Republic of China

新聞発表：

生态环境部公布第七批生态环境执法典型案例（土壤环境违法、新化学物质领域）

（2022-09-27）

<<中華人民共和國土壤污染防治法>>及び<<新化學物質環境管理登記弁法>>を確実に実施する為に、土壤や新化學物質に関する環境違反行為を厳格に取り締まり、注意喚起と広報活動を強化し、地方政府組織に参考となる経験事例を提供する為に、2022年9月、生態環境部は、土壤環境違反の典型事例3例と、**新化學物質登記未登記による違反生産行為の典型事例3例**を公布した。各地域の生態環境部門は、深く掘り下げ、法律を厳格に施行し、効果的に土壤汚染の防止と、新化學物質による環境リスクを防止し、公衆衛生を保護しなければならない。

生態環境部は、浙江省台州市生態環境局椒江分局、広東省深圳市生態環境局龍崗管理局、山西省長治市生態環境局長子分局、天津市生態環境局、河南省生態環境庁、重慶市生態環境局に対して、案件処理に於ける優れた実績を表彰しました。

- （1）浙江省台州市の浙江海正药业股份有限公司による、生産工場解体実施の際に於ける汚染防止計画の未策定。

2020年11月3日、年末監督・検査中に、土壤汚染重点監視組織である浙江海正药业股份有限公司が、廃棄工場を解体しているのを発見した。工場の路面上に、解体された反応釜17基、遠心分離機4基、小型貯蔵タンク32基、及び多数の排管が放置されていた。調査の結果、同社は放棄された工場の施設と設備を解体時に必要な、汚染防止・制御計画を策定しておらず、土壤汚染防止措置を講じていなかった。

・・・その他省略。

- （2）深圳市特賽鑫科技有限公司による、偽の土壤調査報告書の発行。

2020年12月、深圳市特賽鑫科技有限公司は、龍崗区平地街環城西路の土地整備事業に於ける土壤環境予備調査を実施した。その後、2021年1月27日、深圳市生態環境局は、市天然資源局とともに、専門家審査を実施した際に、「平地街環城西路区画の土地整理事業の土壤環境に関する予備調査報告書」を作成する過程で、同社は回答者に実際のインタビューを実施せず、虚偽のインタビュー記録を記載していたことが判明した。

・・・その他省略。

- （3）山西省長治市の长子县通巨华工程有限公司の朗晴協合風力発電プロジェクトの事例

2020年6月22日、山西省長治市生態環境局による、长子县通巨华工程有限公司が建設した朗晴協合風力発電プロジェクトの通常検査の実施時に、建設中に剥ぎ取られた表土の

一部が風車の敷地と建設道路の周辺に投棄されているのを発見した。

・・・その他省略。

(4) 天津市敬业精细化工有限公司による、新規化学物質登記未登記での違法生産事例。

2021年5月25日、天津市生态环境局は、天津市敬业精细化工有限公司に対して立入検査を行った。検査の結果、同社が2020年に製造した医薬品中間化学物質2件は、「中国現有化学物質名録」に含まれない新規化学物質であるが、必要な新化学物質環境管理登記証や簡易登記証を取得していなかった。生産量はそれぞれ61.9トン、9.9トンであった。

天津市生态环境局は、「新化学物質環境管理登記弁法」第48条第1項に従って、同社に違反を直ちに是正するよう命ずると共に、2万元の罰金を科した。

・・・その他省略。

(5) 河南商丘佳纳化工有限公司による、新化学物質環境管理登記をせずに違法生産した事例。

2021年5月25日、河南省生态环境厅は、商丘市佳纳化工有限公司に対して立入検査を行った。検査の結果、同社が2020年以降に製造していた医薬品中間化学物質は「中国現有化学物質名録」に未収載の新規化学物質であるが、新化学物質環境管理簡易登記を行っていなかった。生産量は2.732トン。

河南省生态环境厅は、「新化学物質環境管理登記弁法」第48条第1項に従って、同社に違反を直ちに是正するよう命ずると共に、2.05万元の罰金を科した。

・・・その他省略。

(6) 重庆合才化工科技有限公司による、新化学物質環境管理登記をせずに違法生産した事例。

2021年1月14日、重庆市生态环境局は重庆合才化工科技有限公司に対して立入検査を実施した。検査の結果、同社が2019年以降に生産した化学物質は、「中国現有化学物質名録」に未収載の新規化学物質であるが、新化学物質環境管理簡易登記を行っていなかった。生産量は5.7トン。

重庆市生态环境局は、「新化学物質環境管理登記弁法」第48条第1項に従って、同社に違反を直ちに是正するよう命ずると共に、1万元の罰金を科した。

・・・その他省略。

以上